

平成 30 年度第 1 回函館市生活交通協議会会議録	
開催日時	平成 30 年 5 月 28 日（月） 18 時 30 分～19 時 30 分
開催場所	函館市役所 8 階大会議室
議 題	（１）副会長および監事の選任について （２）ユニバーサルデザインタクシー等導入促進事業について （３）函館市地域内フィーダー系統確保維持事業（望洋団地バスの新設）について （４）その他
出席者	協議会委員 (計 20 名) 奥平委員，大橋委員，森委員，渡部委員，佐々木(勝)委員，上野委員， 三上委員，武下委員，佐々木(香)委員，富樫委員，杉澤委員，鈴木(健)委員， 棕平委員，成田委員，小林委員，田畑(聡)委員，佐藤委員 横田委員（一般社団法人函館地区ハイヤー協会専務理事 辻廣氏代理出席）， 谷内(敬)委員（北海道開発局函館開発建設部道路計画課道路調査官 筒井氏代理出席）， 穴田委員（北海道警察函館方面函館中央警察署交通第一課企画規制係長 三上氏代理出席） ワーキンググループ委員 (計 1 名) 宿村委員 議題等関係者 (計 2 名) 函館バス株式会社バス事業部長 内澤 博昭 氏 一般社団法人函館地区ハイヤー協会総務課長 山本 洋 氏 報道関係 (計 0 社) 傍聴者 (計 2 名)
欠席者	協議会委員 (計 5 名) 木村委員，鈴木(康)委員，目時委員，田畑(浩)委員，上野山委員
事務局の 出席者の 職 氏 名	企画部計画推進室 室長 手塚 祐一 企画部計画推進室政策推進課 主査 嶽本 政弘 企画部計画推進室政策推進課 主事 田中 勇大

1 開 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：田中主事】

【奥平会長】

- ・ 議題に入る前に、各交通事業者から公共交通機関を取り巻く状況について、説明をお願いしたい。

【田畑(聡)委員】

＜平成 29 年度の市電事業の状況について報告＞

- ・ 平成 29 年度の実績概数は、輸送人員が 574 万 7 千人、運賃収入は 10 億 4800 万円。一般会計負担金等を加えた事業収益は 15 億 6300 万円、事業費用は 15 億 6500 万円となり、最終損益は 193 万円の純損失となっている。
- ・ 函館アリーナでのイベント開催や、北海道新幹線・大型客船による観光客などのご利用をいただいているが、人口減少、老朽化した施設・車両の修繕費の増加傾向など、今後も経営環境としては厳しい状況が続く。
- ・ 平成 29 年度の建設改良としては、谷地頭における分岐機の改良のほか、松風町・千代台において電停改修を実施した。また、車両については超低床電車 1 両を購入したほか、車両の安全対策として 2 両に大規模な改良を行った。
- ・ 28 年度末に導入した IC カードシステム「イカすニモカ」について、29 年度は IC 定期券システムを導入し、本年 4 月 1 日からサービスを開始している。IC カードは順調に普及しており、利用率も上昇を続けている。

【森委員】

＜平成 29 年度のバス事業の状況について報告＞

- ・ 乗合事業について、平成 28 年度は北海道新幹線の開業効果もあり 2.4%の増となったが、平成 29 年度もおおむね好調に推移している。
- ・ 元町周遊号や五稜郭シャトルのような観光路線が好調であり、海外からの利用者が増加している。新函館北斗駅発着便についても、開業時から安定的に推移しているほか、フェリー線が好調である。
- ・ 一方、貸切バスについては、旅行形態の団体から個人へのシフトに伴い、受注量が減少してきている。
- ・ IC カードの利用率は現在 21%となっている。平成 30 年度は定期券・福祉利用券の IC 化により、40%台まで上昇するものと考えている。発行枚数は 29,780 枚、1 日の利用数は 6,500 人となり、導入当初の 3 倍となっている。
- ・ バスロケーションシステムについて、今年 3 月に更新し、外国語に対応することにより利便性が向上している。
- ・ ノンステップバスについて、導入台数 165 台、導入率 74%に達した。導入率は全道 1 位となり、6 月 1 日にはバリアフリー優良事業者として北海道運輸局より表彰を受けることとなった。

【横田委員代理 辻廣氏】

＜平成 29 年度のハイヤー・タクシー事業の状況について報告＞

- ・ 平成 29 年度の売上は前年比 94.5%とマイナスになった。平成 28 年度は新幹線の開業年であったが、前年比 103.86%と他分野に比べて新幹線効果が薄かったこともあり、今後の予測をするにあたり暗い要素となっている。
- ・ 本日の議題ともなっているユニバーサルデザインタクシーについては、現在管内で 10 台が導入されているが、全体では 834 台の車両が登録されているなか、利用者のニーズに応えられる台数には達していない。

【三上委員】

＜平成 29 年度の道南いさりび鉄道事業の状況について報告＞

- ・ 昨年度の冬は記録的な大雪となり、雪害による運休・遅延が多数発生し、お客様にご迷惑をお掛けしたが、安全を最優先した結果である。
- ・ 平成 29 年度の実績として、普通列車の運賃収入は 1 億 2476 万 3 千円(前年比 8%減)、乗客数は 68 万 715 人(前年比 6.2%減)。
- ・ 平成 28 年は開業年であり、新幹線効果の落ち着きも見られたことから、平成 29 年度の数字が今後のベースとなるものと考えている。

2 議 題

(1) 副会長および監事の選任について

【奥平会長】

- ・ 議題(1)「副会長および監事の選任について」であるが、函館市企画部の種田委員の解嘱に伴い、副会長が空席となっている。副会長は会長が指名することとされているため、種田委員の後任である小林委員にお願いしたい。
- ・ また、これまで監事を務めていただいていた、北海道渡島総合振興局の谷内委員の解嘱に伴い、監事に欠員が生じている。
- ・ 監事の選任は、委員の互選によることとされているが、皆様いかがか。

＜会長に一任の声＞

【奥平会長】

- ・ 会長に一任との声をいただいた。
- ・ 谷内委員の後任である渡島総合振興局の鈴木委員にお願いしたいと思うが、皆様いかがか。

＜一同了承＞

【奥平会長】

- ・ 鈴木委員，承諾いただけるか。

＜鈴木委員承諾＞

【奥平会長】

- ・ 鈴木委員が監事に就任することとなった。

（２）ユニバーサルデザインタクシー等導入促進事業について

【奥平会長】

- ・ 議題（２）の「ユニバーサルデザインタクシー等導入促進事業について」，資料に基づき，事務局から説明願いたい。

【事務局／企画部計画推進室政策推進課：嶽本主査】

（資料１－１，１－２に基づき説明）

- ・ 国への補助金申請等にあたり，計画中に軽微な修正が必要となることが見込まれるが，これについては事務局に一任いただきたい。

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し，質問等はないか。

＜質 疑＞

【佐々木委員】

- ・ 計画中，「障害」と表記するのではなく，「障がい」との表記を用いることはできないか。

【事務局／企画部計画推進室政策推進課：嶽本主査】

- ・ 法律名等については「障害」の字をあてたものが正式名称となっており，本計画中の表記もこれに準拠するものであるので，ご理解いただきたい。

【佐々木委員】

- ・ そのような理由であればやむを得ない。

【富樫委員】

- ・ 高齢者の立場から，タクシーのサービスについては，運転手により格差が大きいと感じている。乗務員教育にも十分な配慮をいただきたい。

【一般社団法人函館地区ハイヤー協会：辻廣専務理事】

- ・ 今年度の国の補助金交付要件については未確定な部分があるが、補助金の活用にあたっては、導入するユニバーサルデザインタクシー１台あたり、講習等で一定の資格を取得した乗務員を３名配置することを想定している。
- ・ 有資格者以外であっても、乗務員教育には注力しているところであるが、御指摘を踏まえて対応してまいりたい。

【奥平会長】

- ・ ほかに意見がなければ、協議会として事業計画案を承認するということがよろしいか。

<一同了承>

(３) 函館市地域内フィーダー系統確保維持事業（望洋団地バスの新設）について

【奥平会長】

- ・ 議題（３）の「函館市地域内フィーダー系統確保維持事業（望洋団地バスの新設）について」、資料に基づき、事務局から説明願いたい。

【事務局／企画部計画推進室政策推進課：嶽本主査】

(資料２－１，２－２に基づき説明)

- ・ 国への補助金申請等にあたり、計画中に軽微な修正が必要となることが見込まれるが、これについては事務局に一任いただきたい。

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問等はないか。

【武下委員】

- ・ 望洋団地への路線新設については、町会による要望から２年を経て実現したものであるが、地域の高齢者にとって大変意義深く、事業者には感謝申し上げる。
- ・ 利用者数の確保を目標として掲げているが、地域としてもこれに協力していきたいと考えている。
- ・ 今後の営業努力による運賃の値下げをお願いしたい。

【函館バス株式会社：内澤部長】

- ・ 町会をはじめとした皆様より、ご意見やアンケートへのご協力をいただきながら運行の決定にいたることができた。

- ・ 運賃については、現在の制度に則った設定をしているが、運行経費を抑えるための工夫として、商業施設のイベント曜日とあわせた運行を予定している。地域の皆様にも路線をご利用いただき、長く運行を続けていくなかで、皆様と協議させていただきたい。

【奥平会長】

- ・ ほかに意見がなければ、協議会として事業計画案を承認するという事でよろしいか。

<一同了承>

(4) その他

【奥平会長】

- ・ 議題(4)の「その他」について、皆様から何かあるか。

【奥平会長】

- ・ 事務局から何かあるか。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：田中主事】

- ・ 次回協議会の開催時期は未定であり、日程が近付いたら改めてご案内する。

【奥平会長】

- ・ 他になければ、これで予定した議事をすべて終了したので、進行を事務局にお渡しする。

4 閉 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：田中主事】